一次募集

7

牡馬

サイレントソニックの18

関東入厩
新規開業厩舎 予定

父 モーリス　黒鹿毛　2018年5月21日生　生産 桜井牧場

募集口数 400口 | 総額 2,600万円 | 1口価格 65,000円

母系 FAMILY

母サイレントソニック（08 ディープインパクト）5 勝，北九州短距離 S（芝1200 m），房総特別（芝1200m），オパール S-OP 2 着，ダリア賞-OP 2 着。産駒
　サラドリーム（15 牝 黒鹿 ロードカナロア）3 勝，蕨進特別（芝1000m），㊐
　ダッシュウイング（17 牝 栗 *サウスヴィグラス）未出走
祖母 *ムーンライトガーデンズ Moonlight Gardens（99 Unbridled's Song）米国産，北米 4 勝。産駒
　ビタースウィート（牝 Afleet Alex）3 勝，マカオジョッキークラブ T，南関東㈫ 3 勝，東京シンデレラマイル，T C K 女王杯-JPN3 5 着。産駒
　　サトノフォース（牡 ディープインパクト）2 勝，㊐
　ハッピーチャート（牝 *クロフネ）兵庫㈫ 2 勝，中央 1 勝
　キングビート（牡 *ブライアンズタイム）1 勝
　ケンタッキーミント（牝 ゼンノロブロイ）1 勝
曽祖母**ビー マイ ヴィジョン** Bee My Vision（91 Silver Ghost）北米 4 勝，Ta Wee S。産駒
　ブレイム イット オン ルビー Blame It on Ruby:北米 7 勝，Juvenile S，Criterium S-L 2 着，Cleveland Gold Cup S 2 着，Summit Silver Cup H 2 着，Sydney Gendelman Memorial H 2 着，North Randall S 2 着，アーリントンワシントン フューチュリティ-G2 3 着
　ロック ヤード Rock Yard:北米 3 勝，Donald LeVine Memorial H-L 2 着
　アウト オブ ヴュー Out of View:北米 4 勝，Howard B. Noonan S 3 着
四代母ニフティ フィフティ Nifty Fifty（85 Honey Jay）北米 3 勝。産駒
　クラシック インチュイション Classic Intuition:北米10勝，Criterium S-L，Ocala Breeders' Sales Championship S
　ペンタド Pentad:英 2 勝，March S-L
　ジェネラル グラント General Grant:北米 6 勝，フレッドW.フーパー H-G3 2 着，Seminole H-L 2 着，Needles S-L 2 着
　アイ アム ニフティ I Am Nifty:北米 2 勝，J J'sdream S-L 2 着。**ヒア イー ヒア イー** Hear Ye Hear Ye（Jack Price Juvenile S）の母
　スピリット アンド ソウル Spirit and Soul:北米 1 勝。**シング プレイジズ** Sing Praises（Birdonthewire S，In Reality S）の祖母

モーリス 2011　鹿	スクリーンヒーロー	*グラスワンダー
		ランニングヒロイン
	メジロフランシス	*カーネギー
		メジロモントレー
サイレントソニック 2008　黒鹿	ディープインパクト	*サンデーサイレンス
		*ウインドインハーヘア
	*ムーンライトガーデンズ	Unbridled's Song
		Bee My Vision

サンデーサイレンス M3×S4，Lyphard S5×M5

母の父 BROOD MARE SIRE

ＢＭＳ**ディープインパクト**は早来産，年度代表馬（２回），12勝，三冠，ジャパンＣ-G1。チャンピオンサイアー（７回）。主な産駒:**ジェンティルドンナ**（年度代表馬２回，ジャパンＣ-G1），**マカヒキ**（ダービー-G1）。母の父として**キセキ**（菊花賞-G1），**ファンタジスト**（京王杯２歳Ｓ-G2，小倉２歳Ｓ-G3），**ラストドラフト**（京成杯-G3），**ハッピーアワー**（ファルコンＳ-G3）を出す

本馬のポイント

世界を股にかけて大活躍したモーリスの初年度産駒で、馬体を見ると、すでに良質な筋肉を纏っており、いかにも父の産駒であることを感じさせてくれます。特に迫力のある大きく逞しいトモが印象的で、これを推進力に爆発的なスピードを発揮してくれるでしょう。腰高でまだまだ変わってきそうな雰囲気も好感が持てます。また配合面に注目すると、モーリス×ディープインパクトも魅力の1つ。自ずとサンデーサイレンスの3×4が成立するニックスですので、もしかすると近い将来、大物馬の定番配合となるかもしれません。